

# 橋梁排水管補修工の作業手順

制定・改定日 2022.2.18

項 目	内 容	留 意 事 項
準 備 工	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業内容の確認</li> <li>作業人員の確認</li> <li>保護具の確認</li> <li>使用機械、資材、工具の点検</li> <li>規制内容の確認</li> <li>高所作業車(足場)の持ち込み点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指示書の内容確認</li> <li>安全打合せ書</li> <li>作業別安全チェックシートの活用</li> <li>機材、道具類落下防止の確認</li> <li>KY活動の実施</li> <li>作業計画書の必要な工種はこれを確認すること</li> </ul>
補修箇所の撤去	<ul style="list-style-type: none"> <li>高所作業車(足場)の設置</li> <li>該当する排水管をサンダー等を使用して撤去する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全帯は、確実に使用する。</li> <li>保護具を使用する。(対切創用の手袋等を使用すること)</li> <li>工具等を落とさないよう、ロープを取付落下防止処置を行う。</li> <li>飛散防止措置をすること</li> <li>アウトリガー最大張り出し・地切確認・状況により敷板の設置</li> <li>一般道規制の際は、監視員配置等、安全に必要な措置を講じる。</li> <li>サンダー使用時はキックバックに注意し、状況に応じた防護衣を着用する。</li> </ul>
排水管の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>金属部分のサビ取・防食材塗布</li> <li>排水管支持金具取り付け</li> <li>排水管取り付け</li> <li>支持金具の締め付け固定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全帯は、確実に使用する。</li> <li>保護具を使用する。</li> <li>工具等を落とさないよう、ロープを取付落下防止処置を行う。</li> <li>飛散防止措置をすること</li> <li>一般道規制の際は、監視員配置等、安全に必要な措置を講じる。</li> </ul>
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具、機材をトラックに積み込み、最後に竹ぼうき等で清掃を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。</li> <li>運搬時飛散防止措置をすること</li> </ul>

作業編成(標準)		機材		資材		安全器具・保護具	
作業責任者	1 名	発電機				ヘルメット	保護メガネ
現場監視員	1 名	ハンマードリル				反射(自発光)チョッキ	粉塵マスク
作業員	2 名	コードリール				反射スパッツ	耳栓
		工具類				発煙筒	安全帯
		機材車				黄旗	耐切創用手袋
						警笛	

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

## ■注意事項(共通の指導事項)

- 1.有資格者による、機械作業を行う。
- 2.機械設置個所の安全確保を確実にを行う。
- 3.作業に合った保護具を使用する。特に安全帯は、確実に使用する。
- 4.手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
- 5.一人作業の禁止